

アジェンダ21すいた 会議記録表

作成者：田中

会議名	幹事会
日 時	令和3年3月22日(月) 15:30~17:30
場 所	オンライン開催(ZOOM)
出席者(敬称略)	幹事：三輪信哉、福井一彦、池淵佐知子、荒堀尚、藤田和則、小田信子、道澤宏行 事務局：廣瀬、田中
欠席者(敬称略)	馬場慶次郎、西川由希、水川晶子、馬場多佳子
議事次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・各部会及び団体及び行政より ・サタデースクール(Co₂ダイエット)の件について(資料1) ・フラッグシッププロジェクトより 2 アジェンダ21すいた定時総会について <ul style="list-style-type: none"> ・日程について ・スケジュールについて ・役員を選任について ・第2部企画について 3 環境月間、スタジアムブース出展について 4 エコレターの謝礼について 5 ホームページ改修について 6 その他 <ul style="list-style-type: none"> ・新規会員募集について(積み残し) ・SDGs啓発について(積み残し)
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ● 次第 ● 資料1-1 子どもCO₂ダイエット連続講座実施(案) ● 資料1-2 子どもCO₂ダイエット連続講座実施予定経費(案) ● 資料2-1 令和元年度 アジェンダ21すいた 事業活動報告 ● 資料2-2 令和2年度 アジェンダ21すいた 事業活動計画 ● 資料3 アジェンダ21すいた HP 意見(まとめ) <p>添付資料：幹事会議事録(令和3年2月分)</p> <p>追加配布資料：すいた環境教育フェスタ2021 チラシ</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 報告 <ul style="list-style-type: none"> ■NPO 法人 すいた環境学習協会(SELF) <p>3月末で実質的な活動休止、5月の総会(5月29日(予定))で解散を諮る予定。 解散の経緯としては、役員が高齢化し、新しい会員が入ってこないため、引き続</p>

き役員を担うメンバー出てこない状況で、環境に関する活動が NPO 法人として実施できるかを理事会の中で相談し、解散して出直すこととなった。
環境活動をやめるわけではなく、引き続き活動を行う組もある。
NPO 法人であることと、環境団体として活動することはイコールではないので、NPO 法人としては活動停止するが、それぞれのメンバーは環境活動を行う。
解散となれば、SELF としてはアジェンダ 21 すいたの団体会員ではなくなるだろう。
だが、今後も環境に関する活動はできる限りアジェンダ 21 すいたと情報交換しつつ、実施したいと思う。

■エネルギー部会

馬場(慶)氏不在。福井氏より報告。

江坂大池小のサタデースクールについて、5 月下旬から実施したいと聞いているが、どの団体を採用するか決めていないとのこと。

今年は新型コロナウイルスの影響で 3 密を避けて出来る限り少人数で行うために、1 講座 15 名程度の参加者数にしたいとのこと。

講座の提案内容は資料 1-1 のとおり。

ただ低学年が中心で 15 名程度となると難しい講座もあるので、採用されれば再考する必要がある。

講座実施予定経費は資料 1-2 のとおり。承認願う。→承認。

総計 5~6 万の経費だが、「自然観察会」と「ごみの減量と食品ロス削減」については、自然部会と資源部会にお願いしたく、経費がかかるのであれば、そちらも計上する。

→事務局から自然部会と資源部会に知らせる。

→くるくるプラザとも協力できないか三輪代表から確認。

豊中市民環境会議アジェンダ 21 との意見交換について

3 月 9 日に豊中市民会議の事務所へ訪問、省エネの相談会の運用方法を学んだ。

同団体は指定業者にもなっており、ふるさと納税の資金も豊富にあり色々活動も広がっていると実感した。

スーパーの中で省エネ相談会をして成功したと聞いた。

■自然部会

馬場(多)氏不在。藤田氏より→特に報告事項なし。

■資源部会

水川氏不在。三輪代表より。

資源部会としては特に報告事項なし。

水川氏が給水スポットに関心有、ナースの大林氏と相談し、流れができてつつある。

■大阪学院大学

西川氏不在。

■大阪ガス

荒堀氏が4月から「近畿圏部の地域共創チーム」から「ネットワークカンパニー地域共創チーム」に異動。

ネットワークカンパニーとは次年度から会社が分割されるうち、ガスの供給会社の方で、地域共創関係の部分を担う。これまでと関わり方は変わらない。

■NPO 法人 すいた市民環境会議

特に報告事項なし。

■行政

次年度の負担金について、これまで50万円としていたが、コロナの関係で税収の落ち込みや、健康医療の分野に資金を投入する必要もある中で、市全体で予算配分額が8%程度削減となっている。このため、アジェンダへの負担金を46万円とし、現在議会に諮っている状況である。このため、次年度は4万円の減額予定である。御理解願いたい。

次々年度以降については社会情勢の関係もあって現状では不明であるが、戻せるように努力していきたい。

・フラッグシッププロジェクトより

【地球温暖化防止】

令和3年9月後半にクールアースウィークを予定

→例年、参加していただいている団体には今後、連絡をする。

令和3年9月23日(木)に江坂公園にてムーンライトコンサートを実施予定。

→3密を避けてコロナ対策を十分にした状態で開催予定。

【食品ロス削減】

実施要領の作成が完了。

現在、把握しているすいた食べきり運動推進協力店69店舗に新しい賛同書を送り、最新の情報に入れ替えたいうえで、アジェンダのホームページで魅力的に紹介していけるように取り組む。

今年度は訪問が難しかったので、来年度、アプローチする場所は検討中。

2 アジェンダ21すいた定時総会について

・日程について

当初、7月24日(土)で予定していたが、7月22日(木)と7月23日(金)も祝日となり、4連休となるが、連休の途中である7月24日(土)に開催でよいか？

→7月24日(土)でよい。

・スケジュールについて

3月中に議案書素案を作れるよう、各部会、プロジェクトで作成する。

・役員の選任について

役員改選の年なので、各部会の方からリーダーの選出とその結果を事務局まで。福井氏と池淵氏については、推薦書の作成をお願いします。

藤田氏を市民代表として幹事会に入っていたかどうか。

→事務局から藤田氏に提案する。(この時点で藤田氏不在)

人数の上限はあるのか。

→部会は各1名、市民代表が1～3名、団体が1～3団体、企業が1～2団体、学識者が1～2名、大学が1団体。

大学は1年交代で次は大和大学の予定。

⇒4月には固める。

・第2部企画について

定時総会の第2部企画のアイデアを募りたい。

→定時総会の開催方法によって変わる。

例えば、ズーム開催であれば、どなたかに公演を依頼することも可能だと思う。

対面型で開催するにしても第2部はカットするほうがいいのでは。

【質問】ズーム開催とした場合、機器類等で参加できない方はいるのか。

→ズームでするのは難しい方もいる。できればズームは使用しない方がよいように思う。

書面開催は事務局側の負担が大きいと感じる。

できたら対面かズームで開催をしたいと考えているが、対面で行う場合も時間の尺を1時間程度にして、講演会も懇親会も中止にしたほうがいいと思う。

対面の会場も設けて、ズームで参加できる方はズームで参加して、ズームに参加できないあるいは体調のことを考えて対面での参加もできない方は委任みたいな形とするのはどうか。

⇒開催方法は検討し、講演会（第2部）と懇親会は抱き合わせでの開催はしない。

3 環境月間、スタジアムブース出展について

6月の環境月間のときに一昨年のように市役所ロビーを借りて展示を行うか？
実施するのであれば、どの期間で借りるのか。

⇒今年も実施方向。

日程については6月1日から6月11日を第1希望として事務局で決める。

スタジアムブース出展については、市の担当者に日程を伺うと6月27日（日）に吹田市民を招待する「吹田市民デー」を実施する予定で、アジェンダも出展したいと考えているが、良いか。

⇒実施する方向で進める。

4 エコレターの謝礼について

良永ゼミの学生の方へエコレター編集謝礼→45,000円

今年はコロナの関係で7月号が休刊となった。

→満額支払い？or1回分を差し引いた額を支払い？

- ・1回あたりの金額で支払うとしていた方が、もしも「特別号」のようなものを作成する場合に金額を上乗せして依頼することができるので、今回は減額になるが、3回分を支払う方が良い。
- ・良永ゼミへ編集を依頼する際に、「1回あたりの謝礼額」としたか、「年間の謝礼額」としたのか？

年額で伝えたのであれば、45,000円を支払えばよいと思う。

⇒事務局より

依頼した際は、「1回あたり」とも「年間で」とも話をしていない。

「ニュースレター」と「エコプレス」の合併に伴い、「エコレター」の記事の半分の作成と編集の作業として、エコプレスの際は60,000円であったのを、今後は45,000円だと依頼をしたのみ。ただ、良永先生は年4回の発行であることは認識されていると思われる。

- ・依頼の際に回数を提示していないのであれば、全額にした方がよいと思う。
- ・総会の議案書の事業計画にも「年4回発行」と記載あり。その費用として支払うので、今回は3回分にしないと意味が通じない。
- ・基本的には3回分の支払いが妥当と考えるが、機材や人件費が3回でも4回と同様にかかる等の合理的な理由があれば、全額支払いを検討する必要がある。良永先生にその辺の詳細を確認し、謝礼額を検討する必要がある。

⇒事務局で良永ゼミに確認する。

- ・今後は、「1回あたり」とした方が、支払うべき額がはっきりするので、そのことも良永先生に確認願いたい。

	<p>5 ホームページ改修への意見について（資料7） 会員の皆さんからいただいた意見の内容で、担当者会議をしてもいいのか。 ⇒担当者で進めていく。</p> <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> •SDGs 啓発について（積み残し） アジェンダの活動がこの SDGs のここに関わっていますという情報をホームページ上で紹介するページを作ってもいいかもしれない。 <p>アジェンダ会員にすいた環境教育フェスタのチラシをメールで送付する。</p>
	<p>令和3年4月16日（金）14：00～16：00 （予定） オンライン予定</p>